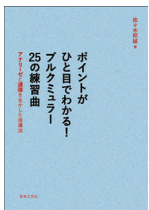




今日の楽譜 & 音楽雑貨



ポイントがひと目でわかる！ ブルクミュラー 25の練習曲



音楽之友社 2,200円(税込)
佐々木邦雄著

「アナリーゼの視点」と「音楽の共有」という2つの軸を中心に演奏ポイントや作曲の工夫などを掲載。アナリーゼ・ポイントを用いた各曲3つの項目で、全体から細部に至るまでを読み解く。

【著者関連商品】

ふたりのブルクミュラー 25の練習曲 (連弾伴奏集)
音楽之友社 1,760円(税込) 佐々木邦雄著
全面スコア形式で使いやすくなった新装版。

ぴあのどリーむワーク・ブック6 【解答付き】

学研プラス 1,430円(税込)
田丸信明 著

自宅でも答え合わせが簡単に出来るようになり、今の時代のレッスンに取り入れやすく進化しています。



【関連商品】

ぴあのどリーむワーク・ブック5【解答付き】
ぴあのどリーむワーク・ブック4【解答付き】
解答が付かない旧版は順次品切れになります。

音大出てどうするの？ マンガ『「音大卒」は武器になる』

ヤマハミュージックメディア 1,650円(税込)

田中マコト子 漫画／大内孝夫 監修

夢を追うか？ 現実を見るべきか？
音楽業界に衝撃を与えた「本音のキャリアガイド」が待望のマンガ化。「学び」と「仕事」はどうつながるのだろう？ 生き方に悩むすべての人へ！



【関連商品】

「ピアノ習ってます」は武器になる
音楽之友社 1,540円(税込) 大内孝夫 著
AI時代の子供もたちに「生きる力」を授けるために最強の習い事ともいえるピアノを習うメリット。

Piano Lesson 88編集部：株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (担当：笹沼・川中)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます！

閲覧・ダウンロードはこちらから

プリマ楽器 検索

<https://www.prima-gakki.co.jp/news88/>

ラドゥ・ルプーは語らない。 沈黙のピアニストをたどる20の素描

アルテスパブリッシング

2,640円(税込)

板垣千佳子 編著

「1000人に1人のリリシスト」と讃えられながら、インタビューも録音も拒んで引退した伝説のピアニスト、ラドゥ・ルプー。親友たち20人の証言・寄稿により、その素顔が明らかになる。



【この本もオススメ！】

ピアニストが語る！(増補版) 焦元溥著
アルファベータブックス 3,520円(税込)
ポゴレリチをはじめとする、14人の世界的ピアニストへの長時間にわたる、徹底したインタビュー。



第230号

Piano Lesson 88



魅力的な曲と壮大なストーリーで展開されるリレー形式の曲集

お話と音楽のバトン ある日、オリーブの丘で

音楽之友社 1,980円(税込)

作曲・お話：

樹原涼子、轟千尋、春畑セロリ

絵：本間ちひろ



■絵本をめくるようなワクワク感♡

まるで絵本を1ページ1ページめくるようなワクワク感にあふれた曲集が誕生しました！『ムジカノヴァ』誌2020年8月号から2021年7月号にかけて付録楽譜連載されたストーリー仕立ての全12曲を1冊にまとめたものです。冠称の『お話と音楽のバトン』の名のとおり、樹原→轟→春畑の順に、リレーで物語と付随する楽曲をつないでいきます。

イベント「作曲家談話室」がきっかけで始まったこの連載。「リレー形式でうまくお話と曲がまとまるのか」という懸念などあったという間にかき消され、毎号それぞれの個性がほとばしる魅力的な曲と予想をはるかに超える壮大なストーリーが展開されました。物語は、「ぼく」にピノアという友だちができ、ピノアと一緒に小さな旅に出るところから始まり、目の前に色とりどりの景色が広がるような不思議な体験をしながら、いつの間にかピノアとはぐれ……とめまぐるしく展開していきます。結末についても「涙が出た」「最後の一言にゾクゾクした」「この先のお話を自分で考えてみたい」など、多くの人の心に響いたことがうかがえる感想をたくさんいただいています。楽曲も、シーンごとの変化にうまくのって、3人それぞれの「らしさ」が存分に発揮されています。スタイル、構造、モチーフとあらゆるアイディアが盛り込まれていますので、この12曲で学べる音楽的要素もたくさんあるでしょう。もちろん、ただ曲の美しさに

浸っていただくだけでも贅沢な体験ができます。

イラストは連載時と同じ本間ちひろさん。曲集化にあたって新たにカラー版の水彩画を描いていただきました。音楽之友社の商品ページから、そのイラストがダウンロードできます！是非一度ご覧ください。音楽、絵、文章で魅せるこの楽譜が、多くの方にとって大切な一冊になってくれたらと願っています。



<https://www.ongakunotomo.co.jp/catalog/detail.php?id=438320>



<著者プロフィール>

◆樹原涼子

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを故八戸澄江、故有馬俊一、白石百合子の各氏に、ジャズピアノ、編曲、音楽理論を故八城一夫氏に師事。1991年から順次刊行された『ピアノランド』シリーズは累計190万部を超え、ピアノ教育界で高い評価を得ている。

◆轟千尋

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院音楽研究科作曲専攻修士課程修了。作曲を野田暉行、尾高惇忠、松尾祐孝、電子音楽を辻田幸徳、音楽理論を川井學の各氏に師事。多数の一流演奏家に作品を演奏され、室内楽からオーケストラと様々な編成の作編曲、曲集出版等も数多く手がける。

◆春畑セロリ

東京藝術大学卒。鎌倉生まれ、横浜育ち。舞台、映像、イベント、出版のための音楽制作、作編曲、演奏、執筆、音楽プロデュースなどで活動中。さまざまな出版社から、曲集や教材など多種多様なかたちで作品が刊行されている。





フンメル博士からの助言



[シリーズ2] ピアノ・ピアニスト・ピアノ音楽 第33回

ピアノレッスン88の読者の皆様、お変わりございませんか？

先月号では、ピアニストになるための拷問器具をご紹介しました。今月も引き続き恐ろしい器具が登場します。また当時のコンサートの様子もお知らせさせていただきます。

岳本恭治

⑤ 器具名：フィンガー・シュパナー

発明者：ヨハン・オトマール・ベーンツケ（ドイツ）
指と指を2つの枠のようなものに挟み、腱を拡張し、指と指の間を広げる器具。

★最後に最強器具をご紹介します！

⑥器具名：テクニコ

発明者：ブラザーウッド（カナダ）
テコ、おもり、バネ、指を突っ込んで鍛える指輪、二本の柱で指の間を拡張する器具、長い指と短い指を交互にまたぐ練習のための器具が台の上に設置され全重量12kg。

このようにピアニストになる夢を追って筋トレをし、挫折した人々が数限りなくいました。その人々に敬意を称したいと思います。

4. 当時のコンサート事情

18世紀のコンサートのプログラムの組み方は、現在とは全く違っていました。まず一人でリサイタルを行うのではなく、数人の音楽家が集まりコンサートを運営しました。（ピアノ、ヴァイオリン、ハープ、歌手等）またピアニストはプログラムの途中に必ず「即興演奏」を披露しました。さらに驚くべきことに、ピアノ協奏曲を演奏する場合、楽章によって異なる作曲家の作品を演奏することも当たり前に行われました。例えば、第1楽章は、モーツァルトのある協奏曲の第1楽章、第2楽章にベートーヴェンのある協奏曲の第2楽章を、第3楽章にフンメルのある協奏曲の第3楽章を平気で弾いていました！

現在では重要な作曲家のバッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの作品は、滅多に弾かれる

ことはありませんでした。頻繁に演奏されたのは、次回から皆様にご紹介する予定の中の、フンメル、フィールド、カルクブレンナー、モシェレスらに加え、ヘルツの作品でした。モーツァルトは当時流行遅れと言われていました。ベートーヴェンですらほとんど弾かれることがなく、ピアノソナタ変イ長調作品26「葬送」、ピアノソナタ嬰ハ短調作品27-1「月光」、ピアノソナタハ短調作品57「熱情」の3曲が弾かれるぐらいでした。後期の最後の5曲（第28番～第32番）は、ドイツ理想主義者が作った奇怪な作品と言われ、理解されませんでした。コンサートホールも、まだまだ少なくパリの音楽院のホールや、ウィーンの乗馬学校、大学のホールやホテルの部屋が使われました。次号では、この時期のピアニストをご紹介致します。またお会いしましょう。

information



「ピアノ・練習方法ガイドブック」

岳本恭治著

1,980円（税込）サーベル社

好評発売中！

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ大全」、「江戸でピアノを」及び楽譜「フンメル作品集」「フンメル60の練習曲集」「リスト・3つのカンパネラ」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、国立音楽院講師、全日本ピアノ指導者協会（PTNA）正会員。岳本先生ホームページ：http://hummel1778.com/



岳本 恭治

（日本J.N.フンメル協会会長）



ピアノレッスンの今後



♪♪♪ Music Key Lesson ♪♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

2021～2022年へ…ここ1～2年、“コロナ禍”、世界中が苦しみながらも共に頑張っているという共通意識を持っています。もちろん私たちピアノ教師も…です！(^^)!

2021年秋からコロナ感染者数が急減してきた中、各地でイベント開催のニュースに明るい気持ちになりました。

そして多くのピアノ教室でも、感染対策のもと「ピアノ発表会」が開催されたことは本当に嬉しいことです。

教師はもちろんですが、何より親御さんにとっては久しぶりのわが子の舞台姿にいつも以上に感動されたのではないのでしょうか。

ところで…多くの先生方（T）、親御さん（P）からよくこんな質問や声が聞かれます。

*T:発表会があると生徒はその日に向けてとても頑張りがちです。ところが、その後が…だら～っと覇気がなくなってしまうのです。何とか頑張りを継続してほしいのですが…。

*T:発表会曲を完成させようと、手取り足取り…その日までに何とかしなければ…と、全て教え込んでしまうんです。だからいつまでたっても譜読みができなくて…反省です。

*T:日頃、好きな曲しか弾かなくて…もっと他のテキストも同じように進めていきたいのですが、何か本人がその気になるような方法があると助かるのですが…。

*T:頑張り屋さんなのですが、どうしても周りとは比べると劣っていて、どう励ましてあげたらいいのかわ…自信を持たせてあげたいのですが…。

*P:そろそろ高学年になって忙しくなるので、ピアノはもういいかな…と。

*P:うちの子はそんなに才能ないですし、だからコンクールやグレードは問題外…。ただ通わせる以上、親の気持ちとして何か形に残らないかな…と思うのですが…。

どれも正直な気持ちだと思います。実は、私たちも同じような悩みを抱え、どうしたらいいだろうかと…と、長く悩み続けました。そして、やっぱり教師の一番の願いは…“生徒が長くピアノのレッスンを続けてほしい！”です。生徒が楽しくレッス

ンし、ピアノが弾けたら最高です。そこで考えたのが「Music Key認定試験」です。これは普通のレッスンの中で無理なく進めていけるため、教師・生徒・親にとっても負担がありません。それぞれの生徒のペースで進めていくことができます。10～1級まであり、入会間もない生徒も10級から受けることができます。生徒も頑張ることで、級が上がっていくことが嬉しく、やる気にもなります。そんなわが子を見て、親御さんも何とかピアノを続けさせてあげたい…と、応援して下さる姿に感謝です。やっぱりピアノって最高です！（*^へ^*）
[1/12（水）《全く発想を変え、教室全体のレベルアップ！気づいたら生徒が増えた！》のセミナーでは、文中の“Music Key認定試験”についても触れさせていただきます。]



【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】

カワイ表参道コンサートサロンパウゼにて開催中！
全て録画受講もできます！！

Vol.7 1/12（水）10:30～12:30

《全く発想を変え、教室全体のレベルアップ！
気づいたら生徒が増えた！》

【田村智子 2021年度ライブ及び動画講座】

F Bまたは♪ミュージックキーにお問合せください。

♪ミュージックキー-お問合せはmusickey@musickey-piano.com

コンパクトサイズで人気デザインが復活！

♪小さな出席カード♪

プリマミュージック 10枚入り各440円（税込）

従来品の約半分(B6サイズ)のコンパクトな出席カード。



PRFG-340 くまどうさぎ（イエロー）



PRFG-341 水玉



PRFG-342 ネコ（ピンク）



PRFG-343 吹奏楽（ブルー）